

1級土木合格対策講座（2022）

Vol.1_No.8号

2次_コンクリート分野
経験記述論文添削② 編

1級土木施工管理技士の受験対策カリキュラム 2022年度

発行日	号数	学習内容	予定価格	備考
1月21日	VOL.1 No.1号	受験対策講座のガイダンス	無料	1次対策、2次対策の復習
1月25日	VOL.1 No.2号	土工分野、基礎・土留め分野	4,800	1次対策、2次対策の復習
2月25日	VOL.1 No.3号	コンクリート分野、法規分野	4,800	1次対策、2次対策の復習
3月25日	VOL.1 No.4号	施工管理編	4,800	1次対策、2次対策の復習
4月25日	VOL.1 No.5号	新設科目対策（応用能力編）	4,800	1次対策、2次対策の復習
5月25日	VOL.1 No.6号	専門土木（主要3分野）、自己採点票	4,800	1次対策
6月25日	VOL.1 No.7号	土工分野と品質管理、経験記述の添削①	set価格	2次対策（30部限定）
7月 7日	臨時号	1次検定の総評と2次対策上の注意点	無料	2次対策
7月25日	VOL.1 No.8号	Con分野と品質管理、経験記述の添削②	set価格	2次対策（30部限定）
8月25日	VOL.1 No.9号	安全管理、経験記述の添削③	set価格	2次対策（30部限定）
8月31日	臨時号	空欄穴埋め問題のトレーニングテキスト	set価格	2次対策（30部限定）
9月25日	VOL.1 No.10号	環境管理、施工計画、自己採点票	12,800	2次対策

■ 1次検定対策一括申込の場合 23,000円

申込受付中

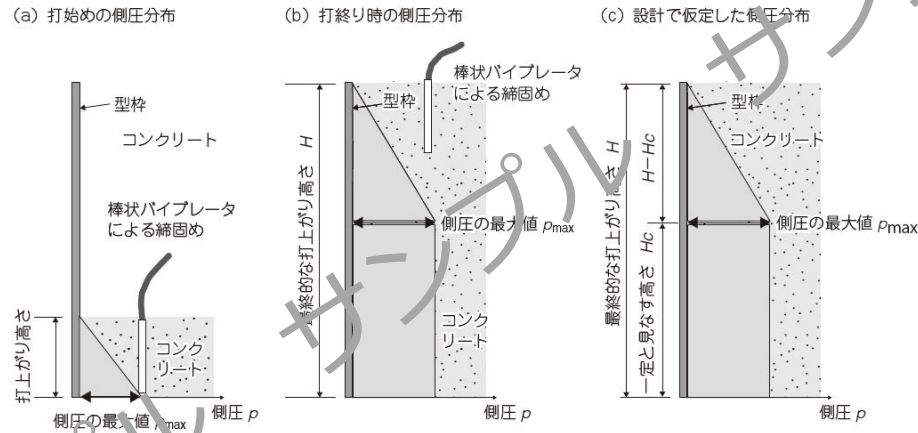
■ 2次検定対策のset価格 68,000円

申込準備中

1級土木2次検定対策 **コンクリート編**

🔍 (1)～(2)の補足

下図は、コンクリートの側圧分布の実際の経時変化と設計計算上の**仮定**を示している。側圧は、打上がり高さが大きくなるにしたがって**【上昇】**する。しかし、スランプが小さなコンクリートを用いて打込みの1層の高さを0.4～0.5mとして打ち重ねた場合には、型枠内におけるコンクリートのスランプ**【低下】**、凝結の進行あるいは鉄筋との付着等により、ある高さよりも低い位置では側圧が**【増加】**しなくなることが多い。型枠設計においては、そのような側圧変化と安全性を考慮し、ある高さよりも下方では側圧が**【一定】**になる分布を想定して、**側圧の最大値**を求める。



解図 1-4-1 フレッシュコンクリートの側圧分布

側圧に影響する要因として

- 打上がり速度が「大」 ➡ 側圧は「**【大】**」
- コンクリート温度が「大」 ➡ 側圧は「**【小】**」
- 壁部より柱部の方が ➡ 側圧は「**【大】**」

(4) コンクリート打込み時に型枠に作用するコンクリートの側圧は、一般に打上がり速度が速いほど、また、コンクリート温度が低いほど なる。

R1 出題

解答例：(ニ) **大きく**